

会 議 記 録

会議名称		杉並区清掃事業運営支援業務受託者候補者選定会議(第1回)
日 時		令和7年5月2日(金)午前 10 時 30 分～12 時 00 分
会 場		小川ビル4階会議室
出席者	委員名	環境部長 :小松 由美子 政策経営部情報管理課長 :石河内 賢 政策経営部デジタル戦略担当課長 :眞鍋 稔晴 環境部環境課長 :土田 麻紀子 環境部ごみ減量対策課長 :坪川 征尋
	事務局	環境部杉並清掃事務所長 :河合 義人 環境部杉並清掃事務所作業係長 :向後 正樹 環境部杉並清掃事務所方南支所管理係主査 :榎 正弘 環境部杉並清掃事務所管理係 :廣中 文子
配布資料	当日	・第1回選定会議次第 ・資料1 選定会議委員名簿 ・資料2 杉並区清掃事業運営支援業務選定会議設置要領 ・資料3 プロポーザル実施スケジュール(案) ・資料4 プロポーザル実施要領(案) ・資料5 評価基準・配点表(案) ・資料6 第一次・第二次審査表(案)
会議次第		1 開会あいさつ 2 選定委員の構成及び職務代理者について 3 選定会議の所掌事項及び実施スケジュールについて 4 プロポーザル実施要領(案)について 5 審査基準(案)について 6 その他
会議の結果及び主要な発言		1 開会あいさつ ・事務局より、配布資料の確認を行った。 ・小松会長からのあいさつ 2 選定委員の構成及び職務代理者について ・資料1の名簿順に委員の自己紹介を行った。 ・職務代理は土田委員となった。 3 選定会議の所掌事項及び実施スケジュールについて 事務局より、所掌事務事項及び実施スケジュールについて、説明を行った。 【主な意見・質疑】 ◇質問受付後からの回答期限が短いのではないか。

- 4 プロポーザル実施要領(案)について
事務局より、プロポーザル実施要領(案)について、説明を行った。
- 【主な意見・質疑】
- ◇運用開始日を遅らせても良いのではないかな。
 - ◇追加機能の想定を明示した方がよいのではないかな。
 - ◇業務説明書の導入にあたって事業者に行ってもらいたい事などを、整理したほうがよいのではないかな。
 - ◇実施要領等を再度見直し、プロポーザルのスケジュールをみなおしてはどうか。
- 5 審査基準(案)について
事務局より、審査基準(案)について説明を行った。
- 【主な意見・質疑】
- ◇追加機能について項目を設けてはどうか。
 - ◇システムの導入について係数の見直しをおこなってはどうか。
- 各委員からの意見を踏まえ、日程、資料、審査基準を見直すことにした。
事務局で修正案を作成し、後日メールにて委員へ送付し、質問・ご意見をもらうこととした。
- 6 その他
事務局より、次回第2回選定会議の開催日程について確認を行った。
- ※次回第2回選定会議の開催について
令和7年6月24日(火)午前10時30分から杉並区役所地下会議室

会 議 記 録

会議名称		杉並区清掃事業運営支援業務受託者候補者選定会議(第2回)
日 時		令和7年6月 24 日(火) 午前 10 時 30 分～12 時 00 分
会 場		区役所 地下駐車場会議室
出席者	委員名	環境部長 :小松 由美子 政策経営部情報管理課長 :石河内 賢 政策経営部デジタル戦略担当課長 :眞鍋 稔晴 環境部環境課長 :土田 麻紀子 環境部ごみ減量対策課長 :坪川 征尋
	事務局	環境部杉並清掃事務所長 :河合 義人 環境部杉並清掃事務所作業係長 :向後 正樹 環境部杉並清掃事務所管理係 :廣中 文子
配布資料	事前	・財務分析報告書 ・利害関係確認チェックシート ・第1次・第2次審査表 ・評価基準・配点表 ・応募事業者の企画提案資料
	当日	・第2回選定会議次第 ・資料2:第二次審査の流れ(案) ・資料3:第二次審査における共通質問(案) ・第1次審査表(各自用)
会議次第		1 開会あいさつ 2 本日の会議の進行について 3 第一次審査(事業者の経営状況)について 4 第一次審査通過事業者の選定 5 第二次審査の流れ(案)について 6 第二次審査における共通質問(案)について 7 その他
会議の結果及び主要な発言		1 開会あいさつ ・事務局より、配布資料の確認を行った。 ・小松会長からのあいさつ 2 本日の会議の進行について 事務局より、本日の会議の進行について説明を行った。 3 第一次審査(事業者の経営状況)について 各委員より事前に提出のあった第1次審査表を配り、公認会計士からの経営状況診断結果を見た上での評価点の記入や、すでに記載している評価点の修正などの記入を行った。

【主な意見・質疑】

◇企画書の概要版を見たい

4 第一次審査通過事業者の選定

事務局で各委員から提出された第一次審査結果の集計を行った。第一次審査通過者は、実施要領において「第一次審査配点合計の6割以上を取得した事業者」としていることから、6割以上を取得した 小田急電鉄㈱及び 栄和清運㈱を第一次審査通過者とし、第二次審査はこの2事業者に対して行うこととなった。

5 第二次審査の流れ(案)について

事務局より、第二次審査の流れ(案)について説明を行った。

【主な意見・質疑】

◇プレゼンを行うに当たり、準備時間等の考慮が必要ではないか。

6 第二次審査における共通質問(案)について

事務局より、第二次審査における共通質問(案)について説明を行った。

【主な意見・質疑】

◇第二次審査のプレゼンに含める項目を事前に送る、ということはあると思うが共通質問はあまり聞かない。

◇共通質問を出す意図が理解できない。プレゼンの中身に、区が意図している内容が入っているか？で、事業者の意欲や誠意を図る手段だと思っており、足りなければ区から質問すればよいだけ。

各委員からの意見を踏まえ、資料3:第二次審査における共通質問(案)は行わないこととした。併せて、資料2:第二次審査の流れ(案)を修正することとした。

企画書概要版については、各委員へメールにて配布する旨説明した。

7 その他

事務局より、次回第3回選定会議の開催日程について確認を行った。

※次回第三回選定会議の開催について

令和7年7月16日(水)午前9時 30 分から第7会議室

会 議 記 録

会議名称		杉並区清掃事業運営支援業務受託者候補者選定会議(第3回)
日 時		令和7年7月 16 日(水) 午前 10 時40 分～12 時00 分
会 場		区役所 第7会議室
出席者	委員名	環境部長 :小松 由美子 政策経営部情報管理課長 :石河内 賢 政策経営部デジタル戦略担当課長 :眞鍋 稔晴 環境部環境課長 :土田 麻紀子 環境部ごみ減量対策課長 :坪川 征尋
	事務局	環境部杉並清掃事務所長 :河合 義人 環境部杉並清掃事務所作業係長 :向後 正樹 環境部杉並清掃事務所方南支所管理係主査 :榎 正弘 環境部杉並清掃事務所管理係 :廣中 文子
配布資料	事前	・応募事業者の企画提案資料
	当日	・第3回選定会議次第 ・第1次・第2次審査表(各自用)
会議次第		1 開会あいさつ 2 本日の会議の進行について 3 第二次審査(プレゼンテーション及びヒアリング) 4 第二次審査結果報告及び選定事業者候補者の決定 5 その他
会議の結果及び主要な発言		1 開会あいさつ ・事務局より、配布資料の確認を行った。 ・小松会長のあいさつ 2 本日の会議の進行について 事務局より、第一次審査通過した業者の 1 社より辞退届の提出があった旨報告を行った。その後、第二次審査のタイムスケジュールの確認を行った。 3 第二次審査(プレゼンテーション及びヒアリング) 事業者のプレゼンテーションに対し、質疑応答・審査を行った。 【A社への主な質疑】 (「○」は委員の発言、「⇒」は事業者の回答を示す)

○他の自治体でシステムを導入したことにより、どれくらい業務が効率化されたのか。

⇒神奈川県自治体では、システム導入後 18%ほどの運搬回数を減らしています。ごみ収集車両の平均の積算率をだし、運搬回数を見直した結果効率化が出来た。

○収集作業中にタブレットを使用するので、使いやすさが大切だと思っている。研修やサポート体制についての工夫など、より詳細に説明して欲しい。

⇒システムや我々の取組みに共感してもらいたいので、杉並清掃事務所等に数多く出向きサポートを行っていく。

○企画提案書「様式2」P19に記載のある「サポートデスク」について、祝祭日は除くとあるが実際はサポート体制をとってもらえるのか。また、年末年始に特別に収集を行う場合も対応してくれるか。

⇒訂正します。ごみ収集が行われている日は、サポート体制を取り、システム対応や必要に応じて現場へも同行する。

○企画提案書「様式2」P4に記載のあるタブレットの通信費は、タブレット 1 台毎にしたい放題プランですか。また、走行中GPSを使うとデータはどのくらい使うのか。

⇒契約は、1 台毎で、使用するデータ量は、1 ヶ月 1GB 程度。

○研修のスケジュールですが、基本編と応用編を分けて計画していますが、応用を早く知りたいという職員がいた場合対応できるか。

⇒システム自体は全て揃っているので、職員の方の熟知度に併せて行っていく。

○システムの仕組みについて伺いたい。収集の自動検知で取漏れか後出しかが分かる、というのはどのような仕組みか。

⇒タブレットが集積所の位置情報を検知し、自動的に判断を行う。集積所に、タブレットを搭載している車両が近づく事とスピードが一定以下になる事で、自動検知する仕組みです。

○他の自治体で導入した当初、何かトラブルや困ったこと、ここが解消出来ないという事例はあるか。

⇒個別収集は、集積所の数が多く全てを管理できないので、道路区間毎で把握することになる。また、ゼンリンの表札対応地図を使えるように改善をした。今回、見て頂いたシステムの半分ぐらいは、色々な自治体様からのアイデアを反映させて使いやすくなった状態です。今回は今まで培ってきたものをご提供させて頂き、杉並区様の作業員の皆様から学ばせて頂いた機能を

アップグレードさせて作っていくことも考えている。今後の機能としては、粗大ごみの受付管理システムとの連携、ドライブレコーダーとの連携など進めている所である。

○個別収集の時の自動検知は、ルートを通ったということで把握する、ということか。

⇒個別収集の時は、道路区間ごとに行ったのか、行っていないのかで判断する機能を有しており、個別収集に対応するために作った機能。道路の左側を取った、右側を取ったということで検知をしていく機能です。

○収集コースは自動で作れるとのことですが、他区自治体では自動で作成したコースは使っているか。

⇒他区自治体では使っていない。ベテランの統括長が作ったコースをトレースして、システムに入れている。新しく収集をするときのたたき台として、使っている。

○自動でコースを作る時は、車両の大きさなどを考慮できるか。

⇒コースを作る時には車両の大きさは考慮できないが、集積場の管理で、狭い道路しか通れない集積所として登録をすると車両に応じてコースを作る事が出来る。

○ルートを作る基礎情報として、収集の搬入量や時間を使ってルートを設定するのか。

⇒ルートの設定は、集積所の位置をどういったグループにするか、経路をどうするかという話になり、集積所のどの地域のごみを一つのルートにいれるのかというところを作るにあたって、基本的なデータを活用して分析をし、作っていくことになる。実際に回る順番についてはコンピューターが判断している。

○23 区の場合、収集のデータは 23 区のシステムでリアルタイムに管理されているが、外部のデータをインポートすることも可能か？

⇒現状インポートする機能はないが、焼却施設でデータをもっているので、そこと突合させて行くということを将来的に目指している。しかし、清掃工場のデータのメーカー・開発者が多数にわたるため、中々話が進まない状態です。課題としては認識しており、そこに向けて受けて進めていきたいと思っている。

○データをはき出す時の権限や、閲覧のみの区分けは可能か。

⇒アカウント毎に権限を付与することが出来る。

○稀に年末年始の日曜日の収集を行う場合があるが、その時のサポートはしてもらえるか。

⇒もちろん行う。年始の1回目は特にごみが多いと認識している。システムの対応・必要に応じて現場へも同行する。

○現場写真を撮って通報できる機能は、企画提案書では追加機能に入っていたが、標準機能で入っているという認識で大丈夫か。

⇒その通りです。全て標準の機能だが、業務仕様書に合わせたため追加機能として提案した。

○企画提案書の中に、他部署との連携と業務の効率化とあるが、この機能も標準機能か。

⇒標準でついているスマートシティ機能が、道路の陥没の情報を所管課へ即座に連携する。例えば、災害の時に川の状態を事前にこのシステムに登録しておく、その現場に行くとポップアップで表示され、そこで現場職員が写真をとると所管課へデータが飛ぶなどの機能が標準機能で入っている。

4 第二次審査結果報告及び選定事業者候補者の決定

上記の質疑等を踏まえ、配点合計に対する評価点合計が6割以上で、第一次審査及び第二次審査の総合計が最上位の事業者を受託者候補者として選定した。

※審査結果の詳細は、別紙「杉杉並区清掃事業運営支援業務公募型プロポーザル選定結果」のとおり。

委員より

システムの操作等は、さほど難しくはなさそうに見えた。が、職員に安心感を与えるような研修が大事だと思うので、現場職員のレベルに合せた丁寧な研修を行って欲しい。

5 その他

参加事業者への選定結果通知及び区公式ホームページへの選定結果掲載など、今後のスケジュールについて事務局より説明した。